

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：消防指導費

### 事業名 消防表彰費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 消防課 消防係 電話番号：058-272-1111(内2884)

E-mail：c11193@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,891 千円 (前年度予算額：2,831 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,831	0	0	0	0	0	0	0	2,831
要求額	2,891	0	0	0	0	0	0	0	2,891
決定額	2,891	0	0	0	0	0	0	0	2,891

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

消防団員は消防組織法に基づいて市町村に設置される消防機関であるが、その活動はお互いに助け合い、支え合う地域社会づくりのボランティア精神により成り立っている。また、消防団員に託された地域住民の期待に応えるため、時に危険を伴う活動を行っているため、その労苦に報いるため表彰を実施する。

この表彰により、消防団員の士気の高揚、ひいては県民の安全確保への寄与を目指すものである。

### (2) 事業内容

表彰式では、日頃の消防活動や火災予防活動に顕著な功績があった消防団、女性防火クラブ、少年消防クラブ等の消防機関及び消防職団員等に対して、知事特別表彰旗や知事特別功労章をはじめとする各章（賞）を授与するほか、消防活動を支えてこられた団員のご家族及び消防団の活動を支援している事業所に対して感謝状等の授与を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県が実施主体の表彰。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	2,515	表彰物品購入費（個人表彰分）、賞状購入費
印刷製本費	67	賞状印刷
役務費	309	賞状筆耕費、表彰式司会経費
合計	2,891	

**決定額の考え方**

--

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

消防職団員をはじめ、団員を支えている家族や、団の活動を支援する事業所などを表彰し、その労に報いるとともに、地域防災に対する更なる士気の高揚につなげる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (S44)	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 目標	終期目標 (R 6)	
					達成率	
消防団員の条例 定数に対する充 足率	99.9%	88.50%	91.6%	98.0%	98.0%	93.5%

○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和 3 年度	令和3年度「消防感謝祭」岐阜県消防定例表彰式を開催 ・日時 令和3年11月3日（水・祝） ・場所 不二羽島文化センター（羽島市） ・表彰者 40団体 3,279名（うち県 30団体1,396人） ・参加人員 約200人 災害等で活躍した消防団や、長年消防業務に従事した消防職団員、消防団員を支える家族、団の活動を支援する事業所など、県内の様々な消防関係者を表彰し、その労に報い、士気の高揚につなげることができた。
令和 4 年度	令和4年度「消防感謝祭」岐阜県消防定例表彰式を開催 ・日時 令和4年11月13日（日） ・場所 不二羽島文化センター（羽島市） ・表彰者 33団体 3,069名（うち県 25団体1,308人） ・参加人員 約200人 災害等で活躍した消防団や、長年消防業務に従事した消防職団員、消防団員を支える家族、団の活動を支援する事業所など、県内の様々な消防関係者を表彰し、その労に報い、士気の高揚につなげることができた。
令和 5 年度	令和7年度当初予算にて追加

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	東日本大震災以降、消防の重要性に対する認識が高まっており、団員の士気高揚につながる表彰は、必要性が非常に高い。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	消防団員の活動はボランティア精神により成り立つことから、団員がやりがいを持つためには、その努力が感謝され、賞賛されることが重要であり、表彰は団員の士気高揚につながる。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	開催に要する費用の低減に努めるなど、事業の効率化を図っている。

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 表彰枠が限られているため、要件を満たしながらも受賞できない団員が増加している。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 限られた表彰枠の中でより多くの団員に表彰が行き渡るように、市町村の要望を踏まえつつ表彰の統廃合などを行う。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	【〇〇課】